

授業改善プラン

教科（ 家 庭 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
1 年 生	知識・技能	○実習において、ICT 機器を有効活用し、生徒が自ら学びを進められるようにする。	・実習において、一斉指導では理解が難しい生徒も、個別で指導を行うとできる生徒もいる。	・スモールティーチャーを設定し、教える生徒も、教えてもらう生徒も学ぶことができる環境をつくる。		
	思考力・判断力 表現力	○習得した知識を活用して、生活に生かせるようにする。 ●予測してモノづくりをするのが難しい。	・被服実習において、考えながら作業を進めることが難しい生徒が多い。	・自分で考える時間や他者に自分の考えを伝える時間を設ける。		
	主体的に学習に 取り組む態度	○うまくいかなくてもできるようになるまで粘り強く取り組むことができる。 ●「どうしてもできるようになるか」を自分で考える。	・「なぜうまくいかないのか」を考える前に、教員に聞く生徒が多い。	・チャレンジカードなどを作成し、生徒が粘り強く取り組めるように工夫する。 ・できたことを評価する。		
2 年 生	知識・技能	○習得した知識・技能を実生活で生かせるようにする。 ●思い込みで知識を習得することが多い。	・見本や教材ではなく、独自の方法で作業を進める生徒が多い。	・基本的な技能の必要性を概念から理解できるように指導を工夫する。		
	思考力・判断力 表現力	○先を見通して、考えながら作業することができる。 ●独自の方法で表現している。	・柔軟な発想力がある。 ・状況把握の判断力に課題がある。	・表現力の評価を行う場を設ける。		
	主体的に学習に 取り組む態度	○できなかったことができるようになるという成功体験を重ねられるようにする。 ●できるようになるまで粘り強く取り組む。	・うまくいかない時に諦めてしまうことがある。 ・面白いと感じたことに、集中することができる。	・スモールステップで成功体験を感じられるように工夫する。 (初めは簡単に成功できる教材を用意し、少しずつ難易度を上げていく。)		
3 年 生	知識・技能	○習得した知識を実習で生かすことができる。	・知識を習得している。	・習得した知識を生かすことができる時間を設ける。		
	思考力・判断力 表現力	○実生活を想像して取り組むことができるようにする。 ●実生活と結び付けることが難しい。	・保育の内容において、遠い未来を想像して、自分事として授業内容を結び付けることが難しい生徒が多い。 ・意欲的に授業に取り組むことができる。	・実際に幼児と触れ合い、学ぶ時間を設ける。		
	主体的に学習に 取り組む態度	○学びをどのように将来に生かすかを考えられるようにする。	・起こりうる課題を想像し、自ら学習の調整をすることに対して課題がある。	・スモールステップで、まずは想像の方法を提示する。		

カリキュラムマネジメントの視点から